

薬害根絶デーアンケート（有効回答数 23人）

2006/8/24

1 「誓いの碑」がある事、その意味をご存じでしたか？

知っていた → 15人 知らなかった → 8人

2 本日の取り組みの感想

- ・ マリオン前行動 → なかなかもらってもらえなかった・初めての経験でワクワクした。
ビラの枚数がもう少し多い方がよかった・沢山の人のうちわをもらって頂けて嬉しかった・疲れた・道行く人に聞いてもらえて良かった・遅刻してすみません・いつも支援する人数に比べて宣伝物が少ない・総じてビラ・うちわの受取率が以前幅に上がった。これは世間の関心の高まりを示している・学生さん達の熱意が伝わってきた。より多くの方に薬害を知ってもらえる機会になれば嬉しく思います・学生の力の大きさを改めて感じました。あのうちわで少しでも多くの人々が薬害について知ってくれればと思う。
- ・ 厚労省前リレートーク → ビラ配りとパネルの役割分担ができ、スムーズで良かったと思う。
多くの人の生の声を聞くことができ、良かった・通行人が歩道を避けていたので、スペースはとったほうがよい・場所的にも説得力が強まり、良かった・宣伝カーがなく残念・マスコミの方が多くこられていて驚きました。
適切な報道がされれば良いと思います・多くの人々が並んでのリレートークには力強さを感じた。人々の声が届けば、と思います。
- ・ 碑の前行動 → ちょっと分かりづらかった・よくみえなかった・碑の存在アピールにもよかった・声がきこえなかった・川崎大臣に直接、要望書を渡す事が出来た事は良かったと思う。その要望書を渡す事が出来た事は良かったと思います。その要望にどれくらい応じてくれるのかそれが気になります。
- ・ パレード → 重要だった・初のパレードだったので、やや緊張しましたが、これで世の人にアピールできれば幸いです・多くの人に知ってもらう上で必要だった
コースをもう少し工夫した方がいい。帰りの駅まで遠かった・患者にとっては苦しかった。事前のコースの説明があった方がいい・長いか・暑い中大勢の人が薬害についての理解、協力を求めてパレードを行った事は多くの人々に薬害を伝えるよい機会になったと思います・人のために行動すること、団結する力の大きさを実感した・解散後、クレオまでの交通手段を少し提示してほしかった
長い距離でしたが貴重な体験になりました
- ・ 懇談会 → 大阪や名古屋の学生さん達と知り合う事ができ、大変有意義でした・勉強になった・貴重な体験でした・原告さんと話せるよい機会だった・1.5 hがグループディスカッションの一番よい時間。勉強になりました・様々な立場の人のお話を聞いてとても為になりました。
- ・ 報告集会 → 原告の方達の強い思いを拝聴することができ、これからの活動への力をもらいました・確実に必要・色々な情報が得られて良かったです・非常に将来へのモチベーションとなった・最後の締めとして良かった・簡潔ですごく良かったです！・薬害根絶への決意が伝わってきました・いろいろな薬害の話、厚労省交渉の花井さんの話しは印象的・しまっていて良かった、がつかれた

原告の方のお話、思いを聞いてとても感動した。一刻も早くなくなってほしい。
大学の授業より楽しかった・滞りなく進行していて驚きました。
始めの VTR がとてもよく出来ていて感激しました・花井十伍氏や鈴木利廣氏の
の講演を聞き薬害の今の現状を改めて実感しました。

3 薬害をなくすための企画についてご意見下さい

実体験を語る原告の講演会・ポップでピースなイベント・模擬裁判の実施・コンサート・
医療学生へのアピール・一般の人々に対するシンポジウムだけではなく、医療系大学や医療従事者
向けのシンポジウムも必要かと思います・有名人のチャリティコンサート。薬害エイズでは坂本龍
一さんらのインパクトが大きかったと思うので・学生や市民に親しみのある催し物が良い。模擬裁
判や劇などはどうでしょうか

4 薬害をなくすためにはどうしたらいいのか、ご意見を下さい

- ・ 身近な人から薬害の状況について伝えること
- ・ 多くの一般の人々が薬害を知り、一人一人が意識を高めること
- ・ 正しい知識を民間レベルで手に入れ、行政を監視
- ・ 訴訟に勝つ
- ・ 厚生労働省及び国の根本的な姿勢のあらため
- ・ 多くの人々が薬害を知った上で国に伝えていけば良いと思う
- ・ 厚労省と製薬企業との癒着を断ち切る
- ・ 製薬業界への規制の強化を図る
- ・ 学校教育に導入する
- ・ 国の薬事行政の抜本的改革、企業倫理の導入
- ・ わかりやすい情報発信
- ・ 地道でもこういう行動を続けていくことなんでしょうね。なかなか大変ですが、色んな方の生の声を聞くことで、関心も高まっていくと思うので。
- ・ みんなと手を取り合っていくことが大事なのだ・・・と改めて参加して感じました。
- ・ 行政一新（心の）
- ・ 薬事行政の改革、メーカーの安全性に対する意識の向上、医療従事者の専門家意識の向上
- ・ 国・製薬会社が情報の隠蔽をしない事、医療従事者がそれを監督する事、薬を使用する人が薬を疑うこと（私を含め）
- ・ 積極的に関わってくれるアーティストのコンサート、学習会
- ・ 公務員一人一人の職務に関して個人責任を問えるような世の中にする事。判例が大切だと思います。
- ・ 国が薬害の責任を全面的に認め、恒久的な対策をして行かなくてはならないんだという意識を一般の人々が広く持つこと。
- ・ 薬を提供する側がもっと慎重で誠意のある姿勢をもつ事

以 上